OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟
2009年5月2日発行　第3号

JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ
2009年5月2日（土）　第4節

関西学生サッカーリーグ第４節

終盤の底力で首位浮上！
（写真・桃山大：宮内 豪（右）・岡田翔太郎(左)）

Photo:フリーライター 久住 真穂

第3節、上位直接対決に勝利した桃山大が首位に立ち、負けなしチームは桃山大と立命大の2校に。そしてその両者が今節激突・・・。昨年の上位校が下位校の押し上げに押される中、リーグはGW連戦へ突入。連戦明けに笑顔で微笑むのは!?

■5月2日（土）＠鶴見緑地球技場

11：30 Kick off　関西大ー京産大

なかなか思い描いたサッカーが体現出来ていないが「少しずつ、細かい点を向上させる」（島岡健太監督）事で、上昇気流に乗りたい関西大に立ち向かうのは京産大。古井裕之監督は「第3節は逆転勝ちで、最後まで守りきれて自信になったと思う。負けるような要素はない。」と強気のコメント。現状では中位対決のこの戦いの軍配は如何に。

14：00 Kick off　阪南大ー大教大

「苦しいメンバー構成だが、みんな（精神的に）弱すぎる。大教大が守ってこようが、どうしようが、ウチはしっかりやるしかない」とは阪南大・須佐徹太郎監督。対する大教大は「関西大戦のような戦いが理想（井上功一コーチ）」としながらも、「（退場処分のＤＦ大久保、ＧＫ金川が次節出場停止のため）現時点では次の見通しが全く立たない」しかし阪南大も主将・東浩史を出場停止で欠くだけに台所事情は同じ。がっぷり四つの戦いになりそうだ。

■5月2日（土）＠山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

11：30 Kick off　関学大ー大産大

同大戦でゴールを決めたＦＷ村井匠は、「この試合で出来た事を続けなければいけない」と勝って兜の緒を締め、連勝を誓った。一方、得点は重ねながらもまだ勝ちが無い大産大・西之宮慎司主将は、「まずは何よりも守りの整備から。そこを修正してゆきたい」と課題を語る。失点が多いだけに、守備を建て直せるかが焦点だ。

14：00 Kick off　びわこ大ー大院大

びわこ大・望月聡監督は「様々なことを想定して、誰が出ても変わらないようボトムアップを図っている。」と多くの選手を起用し、連戦に備える。「次の４連戦は辛抱して辛抱して、ディフェンスのところから集中し直して、五分五分の成績でいけたらいいかなと思う」とは大院大・藤原義三監督。現状では勝点で一歩リードしている大院大は前期中断前まで好調を維持したいところだ。

■5月2日（土）＠西京極総合運動公園補助競技場

11：30 Kick off　桃山大ー立命大

無敗で連戦を迎える桃山大・松本直也監督は「立命戦は前期、最初の山場。」と首位攻防戦を警戒。対する立命大・米田隆監督は「勝ち星がついてきてくれていると言う感じ。出ている選手は、持ち場、持ち場で何とかやってくれている。焦らず落ち着いてやって、もっとムダな運動量を減らすことも大事だ」と慎重。上位直接対決の行方は期待大。

14：00 Kick off　同　大ー大体大

2試合続けて相手のカウンターに沈んだ同大は、「課題は明確。好守の切り替えを速くする事」（大森一樹主将）で活路を開きたい。大体大は逆転負けした前節を「良いクスリにしてくれれば」と北村公紀ヘッドコーチは振り返る。連勝チームが無いだけに、ともに少しずつでも勝ち点を重ねたいところ。

大阪学院大学 vs 大阪教育大学

序盤はミスで攻撃の形を作れない両チーム。その後ゲームを支配したのは大院大。FW⑨岡村和哉を基点に早い攻めを狙う大院大を、ＤＦ⑤大久保悟を中心に大教大が跳ね返す展開が続く。守勢に立った大教大には狙い通りのカウンターもあったが、思い切りが悪くわずかシュート1本で前半を終える。

後半、選手の動きも、ボールもともにスピードアップした大院大はMF⑦加藤健太の好シュートで口火を切る。しかし、「もう少しつないでも良かった」と藤原義三監督が話したように、大院大は前へ前への意識が勝ち、中盤のタメが不足し、高い集中力で守る大教大の厚いカベを崩せない。ところが68分、大教大・大久保のファウルに一発レッドの厳しい判定。ＤＦリーダーを失い10人となり、攻撃の中心⑩三好洋央をボランチに下げざるを得ない大教大に対し、大院大は次々とフレッシュな選手を投入し圧力を強めていく。そしてドラマはロスタイム、ボックス内で岡村が倒れると判定はPK。FW 53 四ケ浦寛康が冷静にこれを決め勝負は決着。「相手の守備戦術にはまった」と苦笑いの藤原監督、「選手はよく我慢して守ったので残念」と振り返る大教大・井上功一コーチ、明暗が分かれた。

（文：サッカーライター　貞永 晃二）

大院大　　大教大
1 － 0

4月25日（土）11：30 kick off
＠鶴見緑地球技場

◆得点◆
大院大　89分 53 四ヶ浦 寛康

阪南大学 vs 立命館大学

阪南大　　立命大
0 － 1

4月25日（土）14：00 kick off
＠鶴見緑地球技場

◆得点◆
立命大　38分 13 藤田 浩平(6 是井 優輔)

立命大は過去２戦の終盤に同点劇、逆転劇を見せるなど、昨季の勝負弱さを払拭し、自信を回復しつつある。一方、「ケガ人と風邪（阪南大・須佐徹太郎監督）」でメンバー構成に苦しみ、前年王者らしさを見せられない阪南大は、本来ボランチの⑥井手口正昭をＣＢで起用するが、ＤＦにミスが出てピンチを招くなどやや不安な立ち上がり。攻撃陣でもエース⑪木原正和が36分に負傷退場し台所はますます苦しくなる。ただ③朴帝宣の鋭い左足ＣＫが立命大に脅威を与えるが、得点にはつながらない。そして皮肉にもそのＣＫを跳ね返され立命大38分のロングカウンターから、⑥是井優輔のクロスを⑬藤田浩平にヘッドで浴び失点してしまう。

追う阪南大は後半、MF 28 谷本泰基を入れ主将⑭東浩史をボランチに移動、ポゼッションを上げ攻撃に出る。そして⑦井上翔太の好シュートでペースを握り、セットプレーを交え立命大を押し込むが、チャンスに決定力を欠く。立命大はセカンドボールを拾いまくり、阪南大の攻撃を単発に終わらせていく。阪南大はロスタイムに東が一発レッドを受けて万事休し、連敗で11位に沈み、立命大は連勝で2位に立ちGW３連戦を迎えることになった。

（文：サッカーライター　貞永 晃二）

関西学院大学 vs 同志社大学

共に第2節で惜敗を喫し、この試合を落とすと停滞感が出てしまうため、リーグ序盤戦を考えると大切な一戦になった。特に同大は、昨季５位に終わった後、監督・選手が口を揃えて「来季は上位４つを倒さないといけない」と語っていただけに、昨季４位の関学大は必ず勝たないといけない相手であった。

この試合、同大はJリーグの練習から戻った大黒柱⑦楠神順平をスタートから起用。「同大の左サイドからの攻撃をケアしたい」（関学大・高田博元主将）と考えていた関学大にとって、更に手強い布陣となった。

雨模様の中始まったゲームは、ジャブの応酬で時間が経過してゆく。互いに慎重さが先立ったのか、無理はしない展開。しかし、１本のパスで試合は大きく動く。30分、関学大のMF⑱梶川諒太がハーフウェイライン付近から、前線に張っていたFW 34 山内一樹にロングパスを送る。パスは同大DFにインターセプトされるかに見えたが、ギリギリ山内の足下に収まる。落ち着いていた山内は、カバーに入った同大DFを上手くかわして右足で先制点を沈めた。
結果論ではなく、この１点で勝負は決まった。その後は同大のショートパスを関学大がことごとくカットして、カウンターの嵐。追加点こそ、53分のFW⑨村井匠の１発で終わったが、両校の選手が「５点差以上ついてもおかしくなかった試合」と振り返る程、関学大が圧倒。今季初白星をモノにした。　（文：サッカーライター　ハヤシ ヒロヒサ）

関学大　　同　大
2 － 0

4月25日（土）11：30 kick off
＠大阪長居スタジアム

◆得点◆
関学大　30分 34 山内一樹(18 梶川 諒太)
関学大　53分 9 村井 匠
(27 井林 章・18 梶川 諒太)

関西大学 vs 大阪産業大学

関西大　大産大
2 － 1

4月25日（土）14：00 kick off
＠大阪長居スタジアム

◆得点◆
関西大 19分 19 西口 大輔(25 岡崎 建哉)
関西大 46分 17 金園 英学
大産大 66分 3 佐道 哲也(10 橘 章斗)

大産大の櫛引実監督が、「個では敵わない。いかに組織的に勝負出来るかがカギ」と語った試合。櫛引監督が警戒した個の力を関西大が随所で見せる事となった。

関西大が押し気味ながら、大産大を崩せない序盤。それを打破したのは、MF⑲西口大輔。19分、左サイドでボールを受けた西口がペナルティーエリア角までボールを持ち込み、そこからファーサイドのゴールネット目掛けて、少し曲げたシュートをコントロール良く放つ。この美しいミドルシュートで先制する。これで重圧から解き放たれたか、関西大がリズムの良いパス回しでボールとゲームを支配し続けた。

ただ問題はフィニッシュの粗さ。島岡健太監督も「練習を重ねるしかない」と口にしたが、崩し切って、決めるだけの場面でシュートがことごとくゴールマウスの外に飛んでしまう。46分に⑰金園英学が追加点を決めたが、66分に大産大のＣＫからＤＦ③佐道哲也に１点を返され、冷や汗の勝利となった。試合後の関西大には笑顔無し。反省の言葉が並んだが、日本一を目標とするだけに当然だろう。

（文：サッカーライター　ハヤシ ヒロヒサ）

京都産業大学 vs 大阪体育大学

京産大　大体大
2 － 1

4月26日（日）11：30 kick off
＠山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◆得点◆
大体大 18分 10 川西 翔太(11 山本 翔一)
京産大 46分 26 冨田 慧
京産大 62分 2 濱田 太一

ここまで１分１敗とまだ勝ち星がない京産大。混戦模様のリーグ戦を見据えて古井裕之監督は「連戦までに置いていかれたくない。」と話した。対する大体大は前節王者阪南大に黒星をつけ、１部昇格後初勝利を挙げ、未だ負けなし。連戦前に２連勝ときたいところ。

序盤は雨でぬかるんだピッチコンディションに苦戦し、思うようにパスを回せない。自然とロングボールが増える中、先にチャンスを掴んだのは大体大。ＦＷ⑪山本翔一が左サイドを突破し、ラストパスはエースＦＷ⑩川西翔太へ。ペナルティエリア内フリーでパスを受けた川西が相手ＤＦを交わし、鮮やかな先制点を決める。追加点で一気に勝負を決めたいところだが、京産大の守備陣も黙っておらず、幾度となくチャンスを潰され１－０で折り返す。後半開始１分、この日初先発となった京産大ルーキー 26 冨田慧が「自分でもびっくりした」という強烈なミドルシュートで同点に追いつく。勢いを掴んだ京産大は62分にセットプレーでＤＦ②濱田太一が押し込み、逆転。京産大は最後まで集中力を切らさず守りきり、ようやく初勝利を上げた。

試合後、大体大の主将・松本良太は「まだ経験が少ないチームなので、京産大のあの１点で変わってしまいました。」と敗戦を振り返った。京産大・古井監督は「交代で入った１回生も含め、全員がフィットしてきた。」と勝利の要因を語った。

（文：フリーライター　久住 真穂）

びわこ成蹊スポーツ大学 vs 桃山学院大学

びわこ大　桃山大
0 － 1

4月26日（日）14：00 kick off
＠山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場

◆得点◆
89分 4 宮内 豪(6 岡田 翔太郎)

前節、５－３と攻撃陣が爆発したびわこ大。今節の相手、桃山大もここまで負けておらず好調なだけに油断できない。勝てば首位の両者の対戦。勝負の分かれ目は、ロスタイムに待っていた。

大粒の雨が降りしきる悪天候に耐えながら、両者拮抗した戦いを見せる。特に中盤での攻防が激しく、互いにチャンスを掴めないままスコアレスで後半を迎える。後半開始早々、開幕前までＢチームにいたという桃山大・ＭＦ 33 山敷誠也がスピードあるドリブルでサイドを突破。ゴールラインぎりぎりの絶妙のクロスを上げるも、前線の選手に合わず得点には結びつかない。交代カードを切ったびわこ大は同時に⑬平野甲斐を前線に上げ、攻撃的布陣に変更。ＤＦ⑤内野貴志が武器であるロングボールを供給するも、桃山大ゴールを割ることが出来ない。このまま引き分けかと思われたロスタイム。「ＧＫが見送ったので、入ってしまいました。」と⑥岡田翔太郎のＦＫを豪快なヘディングで決めたのは、ＤＦ④宮内豪。ラスト１プレーまであきらめず粘り強さを見せ桃山大が、２連勝を収め首位に立った。

（文：フリーライター　久住 真穂）